

Φ34 ビックスロットル 取り付けのヒント

T24-STR-34S

取り付けは純正のスロットルボディと交換するだけです。

純正のセンサーは特殊工具で取り付けられていますので、形状に合ったものを使用してください、スロットルボディは精密部品ですので、打撃による取り外しはしないでください。

純正のスロットルボディには、2個のセンサーが付いていますのでこれらを移設します、この時スロットルセンサー側には、Oリングが2個付いていますのでつけ忘れの無いように注意してください、もう一つアイドルソレノイドがあります、外した際のスプリングと回転するニードルがありますので、外した状態で慎重に取り付けてください。



エアーリーナからのダクトは、取り付ける際きついようであれば、ドライヤーなどで温めるとゴムが柔らかくなり、スムーズに取り付けることができます。

純正の取り付けバンドは内径が小さいため、付属の金属バンドを使用してください、ダクトには、バンドの位置決め凸部がありますので、カッターなどで削り取ってください。



エンジンをかける際は必ずセンタースタンドを使用してください、回転が上がりすぎて危険な場合があります。

組み付け後、回転が下がらない、又はハンチング(回転数が上下する)したりする場合2次エアーの侵入などが考えられ、マニホールド、各センサーなどにパーツクリーナーなどを噴霧して確認してみてください、またスロットルのバタフライの密着不良なども考えられます、スロットルワイヤーの遊びも同時に点検してください。

アイドルソレノイドのニードル位置が、エンジンの部品変更によりSTD MAPの位置よりずれている場合なども、回転が落ちにくく、その場合はメインスイッチをOFFにして再度ニードルの位置を学習させてから、エンジンを再度始動してください。

フルコンのaRacerを使用であれば 吸入負圧値の補正があるので徐々に安定してくるでしょう、

また、始動前にTPSの調整を必ず行ってください、調子が出ない場合は、クイックバーンをしてみてください。